



「みさと町」の名前で県を越えた 連携で促進する鳥獣被害対策 (三重県 津市)

概要

地域ぐるみの鳥獣被害対策を進めるに当たって、先進事例を知ることにより、住民全体の意識の向上やイメージの共有化がはかられ、対策の推進に寄与する場合がある。

三重県津市美里町は、同じ町名を持ち、鳥獣被害対策の先進的な取り組みを行っていることで知られている鳥根県（注）の美郷町と、県を越えて住民交流を始め、鳥獣被害対策の促進につなげている。遠隔地であっても連携交流することで、鳥獣被害対策に寄与することができる事例として調査を行った。

1. 美里町足坂農家組合と美郷町の概要

■ 三重県津市美里町

三重県の県庁所在地である津市の人口は 126,970 世帯、276,773 人（令和 2 年 6 月 30 日現在）、面積は 711.11 km²（平成 27 年国勢調査結果）である。津市は、伊勢湾に面した海浜から、西部の山地に広がる森林まで、多様な地形と土地利用が見られる地域である。調査対象とした美里町は、三重県津市の北西部に位置し、三重県安芸郡美里村が 2006 年に津市と合併し、津市美里町（以下美里町とする）となった。美里町の面積は 50.31 km²であり、総人口は 3,349 人（令和 2 年 6 月 30 日現在）である。

■ 美里町足坂農家組合

津市美里町足坂地区の足坂農家組合では、田畑の耕作に加えて、江戸時代からの希少大豆「美里在来（みさとざいらい）」を地域の特産として、生産・販売を行ってきた。しかし住民は、ニホンザル、ニホンジカ、イノシシなどの鳥獣被害に悩まされ、大豆の収量も上がっていなかったという。一部では獣害対策にも取り組んでいたものの、捕獲や電気柵など、一般的な対策に終始していた。また一方では、高齢化や過疎化を背景に、足坂地区の地域活性化も課題とされていた。



希少大豆「美里在来」

■ 島根県美郷町の取組

島根県邑智郡美郷町（以下美郷町とする）は、人口 4,621 人（平成 31 年 8 月 31 日）の町で、町中を貫流する「江の川」でのカヌーや火振り漁、鮎釣りなどで知られる、自然豊かな中山間地域である。一方で、鳥獣害対策については、全国に先駆けて「地域住民が一丸となって取り組んできた町」として知られ、婦人会、役場、鳥獣害の専門家、地域住民が連携してイノシシを地域資源にするための活発な取組が行われてきた。住民らは、(株) おおち山くじらを設立し、イノシシ肉を美郷町の特産品に育て上げた。美郷町で駆除捕獲されたイノシシの約 80%を回収・処理し、その肉や皮を地域資源として役立てようと取り組んでいるそうだ。

農家自らが狩猟者となった美郷町有害鳥獣駆除班、地域の女性たちが結成したおおち山くじら惣菜倶楽部、元近畿中国四国農業研究センターの指導による農作物の栽培方法や獣害に強い畑づくりを実践する青空サロン畑／市場、青空クラフト、(株) クイージ美郷支店、特定非営利活動法人伝統肉協会、美郷町役場産業振興課、おおち山くじら生産者組合などの様々な主体が結成され、協働・連携している。

2. 獣害対策の取組と実施体制

■ 獣害対策における地域ぐるみの取組

津市では、「津市鳥獣害防止対策推進協議会」の下に、地域ごとの鳥獣被害対策を軽減させるため、地域獣害対策協議会（以下、協議会）を設置し、その運営を支援している。市内の9つの地域に31の協議会を設置し、さらに協議会が相互に連携することを目的として、平成24年度に地域が主体となって「津市広域獣害対策連絡協議会」が各協議会の上部組織として設立している。津市広域獣害対策連絡協議会では、追い払い道具取り扱い講習会、獣害対策に関わる人の交流、意見交換、情報共有などの場として、毎年獣害対策交流会を開催している。

津市では、「地域に寄り添った対策」を推進するため、平成28年度に津市の狩猟免許所持者などからなる職員により、「獣害対策相談チーム」を設置しており、現在では4チームと本庁1チームの計5チームが活動している。獣害対策相談チームの活動内容は、①防護柵の見廻り・脆弱箇所に対する指導や提案、②新たな防護柵の相談・提案、③地域獣害対策協議会の設立、座談会等の計画・開催、被害内容の聞き取りや対策方法の助言、④設置檻の現地確認、実績の少ない檻への捕獲指導、⑤市街地に出没するサルやシカなどの追い払い方法、⑥アライグマなどの小動物被害対策の助言や提案などである。

また、津市では、津地域農業振興協議会により、県、市、JAが連携し、農業振興を目的に、獣害対策の取組を実施している。

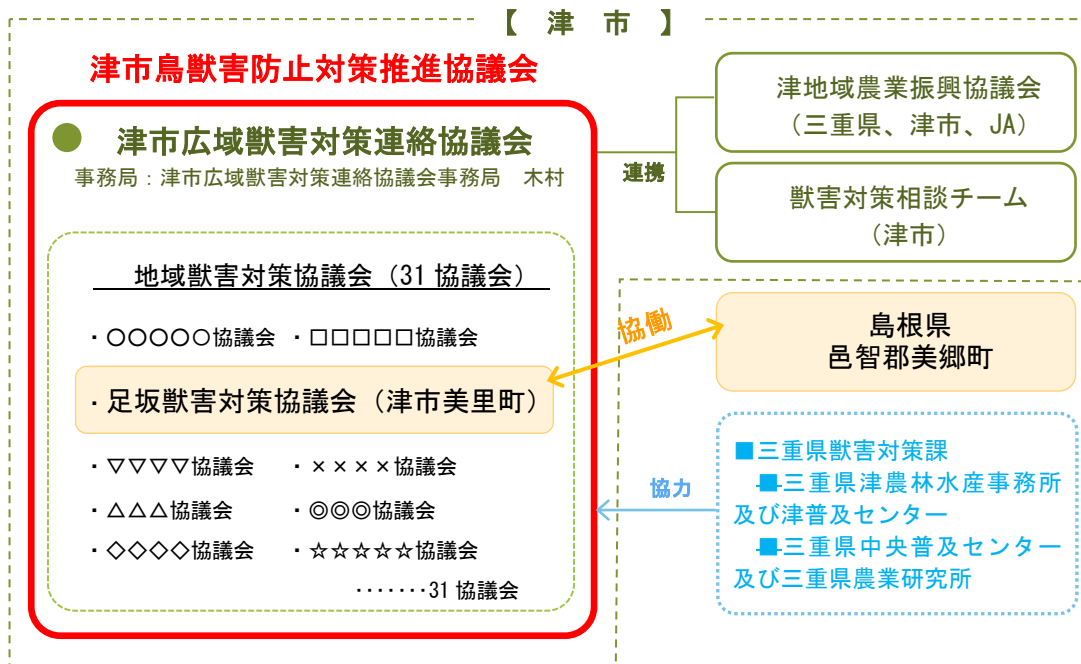


図1 津市における獣害対策の実施体制

起こった事象 対象動物：	津市広域獣害対策連絡協議会設立				美里町と美郷町の コラボレーション開始			女性部「まめファミリー」 の始動	
時期(年度)	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年 1～2月	2～4月	5月～	10月～
個人、集落	・片田地区獣害対策協議会の農林水産省鳥獣被害対策優良活動表彰				・上ノ村自治会獣害対策協議会の農林水産省鳥獣被害対策優良活動表彰 ・高座原地区獣害対策協議会「獣害につよい集落」等優良活動表彰（三重県知事） ・古民家活用サロン「まめカフェ」オープン			・NHKからの足坂農家組合への取材 ・HNKIにより津市美里町での獣害対策現場の取材実施(4/14) ・津市美里町足坂地区の住民による島根県美郷町への視察(4/17-18)	
関係行政、組織の動き 市町村担当部署	・津市鳥獣被害対策実施隊の創設				・津市獣害対策相談チーム設置 ・獣害対策協議会設置（26か所） ・地域に寄り添った集落座談会の開催			・津市獣害対策相談チーム増設	
その他 (野生生物管理)	・シカの一斉捕獲に効果が見込まれるドロップネット等先進的獣害対策（技術）の実証実験（H24年度～）				・防護柵補助制度の拡充 ・地域協議会と連携したサル「津B群」の一斉捕獲			・津市広域獣害対策連絡協議会獣害対策交流会（2/9、2/12） ・地域協議会と連携した多頭捕獲実施	

起こった事象 対象動物：	イノシシ肉と大豆のキーマカレーのプレスリリース				美郷町と美里町の住民交流			包括的連携に関する協定の締結	
時期(年度)	H31年 1～3月	3月	5月～	令和元年 6月	9月	10月			
個人・集落	・みさと在来大豆とイノシシ肉のキーマカレーの完成(3/7) ・旧校舎による女性部「まめファミリー」による「朝ごはん屋たかみや」（月1開催）がスタート(5/12) ・島根県美郷町と津市美里町の住民交流(5/19-20) ・ふるさとフェスタ高宮の開催による地域活性化(10/27)								
関係行政、組織の動き 市町村担当部署	・市長の参加 ・津市獣害対策相談チーム増設（4月）			・島根県邑智郡美郷町による津市美里町足柄地区への訪問 ・美郷町と津市の鳥獣被害対策の包括的連携に関する協定の締結(6/13)					
その他 (野生生物管理)	・地域協議会と連携したサル「津A群」一斉捕獲			・地域協議会と連携したサル「松坂C群」一斉捕獲に着手 ・アライグマなど小動物（8種）報償費制度の創設 ・小動物用津市オリジナル侵入防止柵の研究開始					

図 2. 津市の鳥獣被害対策に関する年表

3. 津市美里町と島根県邑智郡美郷町との協働

■ 津市美里町と島根県邑智郡美郷町の出会い

平成 30 年 2 月 6 日～7 日に、津市農林水産部農林水産政策課の職員 2 名が、「住民主体の獣害対策及び地域ブランド創出産業の振興に係る研修」のため、美郷町を訪れた。その際に、取材に訪れていた NHK 全国放送の制作担当者とともに、獣害対策や地域づくりの現場を視察したことがきっかけとなり、NHK 番組「課題解決ドキュメント ふるさとグングン！」の取材候補地として津市へ取材依頼があったという。市の呼称が同じ「みさと」であり、女性を中心とした地域活性化に取り組み始めていることも共通しているとして、津市美里町足坂地区が、取材地として決定した。

平成 30 年 4 月 14 日には、NHK 全国放送局の取材班が美里町を訪れ、獣害対策の現場取材が開始された。同 17 日からは、津市美里町足坂地区の住民 6 名が美郷町乙原地区へ赴き、女性中心の鳥獣対策や「山くじら」の別称で親しまれるイノシシ肉の資源活用方法を視察した。NHK の取材を伴った視察旅行をきっかけとして、津市美里町と島根県邑智郡美郷町の、県境を越えた女性を中心とした住民の交流が始まったという。

4. 具体的な取組内容

■ 津市美里町と美郷町の協働

平成 30 年 5 月 13 日（日）NHK 全国放送局の取材があり、古民家利活用サロン「まめカフェ」で番組収録が行われた。その日に美里町足坂地区の女性グループや農家組合、津市役所職員が、島根県邑智郡美郷町から視察訪問に来た 3 名を囲み、交流会を開催し、美里町の希少な大豆「美里在来」と、美郷町のブランド・イノシシ肉「おおち山くじら」をコラボさせる「ゼロ円プロジェクト “みさとプロジェクト”」の立ち上げが決定された（図 3）。美郷町の地域商社（株）クイージや、（株）おおち山くじらにも協力を依頼し、商品化がスタートした。

一方、美郷町との交流で美里町足坂地区の住民は、美郷町の女性達に刺激され、“女性中心の獣害対策”や“地域活性化”についての学びをきっかけに足坂農家組合女性部「まめファミリー」が結成された。



図3 ゼロ円プロジェクト“みさとプロジェクト”



古民家利活用サロン「まめカフェ」の様子



足坂農家組合女性部「まめファミリー」

足坂農家組合女性部「まめファミリー」は、遊休農地を共同栽培農地として再生し、「えごま」栽培を計画した。平成 31 年 3 月 7 日に美里町足坂農家組合と美郷町が同時に缶詰「大豆とイノシシのキーマカレー」の完成発表をプレスリリースした。津市では、「JA 津安芸みどりの交差点」、「道の駅津かわげ」、「美里フラワービレッジ産地直売所」、「朝津味」の 4 店舗で缶詰の販売を開始した。足坂地区では、定期開催サロン「まめカフェ」でも缶詰の販売を行っている。

5. 取組の成果

■ 鳥獣被害対策の包括的連携に関する協定

令和元年 5 月 19 日～20 日に、島根県邑智郡美郷町へ津市美里町高宮地区の住民が約一年ぶりに視察に訪れ、交流を深めるとともに、近況報告を行った。その後、令和元年 6 月 13

日、美郷町長は津市美里町足坂地区を訪れ、津市役所を訪問し「鳥獣被害対策の包括的連携に関する協定」（図 4）を締結した。この協定において、津市と美郷町は、鳥獣被害問題に関し、相互に有する知的資源、人的資源、物的資源、情報及び技術の共有等の幅広い連携協力と地域間交流を図り、相互の課題解決と持続的な発展に資することを目的とすることが記されている。



図 4 鳥獣被害対策の包括的連携に関する協定



「鳥獣被害対策の包括的連携に関する協定」調印式の様子

■ 津市美里町足坂地区の獣害対策と地域活性化への取組

足坂農家組合女性部の共同栽培農地では、6月に定植した「えごま」が順調に成長している。圃場では、美郷町で学んだ「ダンポール」を活用した「低コスト電気柵」や「ちょんちょんローラー作戦」で造成した「エサ無しゾーン」なども取り入れた獣害対策が効果を上げている。



低コスト電気柵



エサ無しゾーン

夏みかん等の「樹木の裾部分を刈り込む作業」も広がりつつあり、このことから獣が寄り付かない場所が増えつつあるそうだ。



樹木の裾部分を刈り込む作業

美里町高宮地区の女性グループ「まめファミリー」が中心に運営する「ごはん屋たかみや」は、月1回開催されており、毎回盛況で地域コミュニティの一翼を担うようになっているそうだ。また、学校の跡地を活用した取組として、毎年1回「ふるさとフェスタ高宮」を開催し、地域の活性化に取り組んでいる。



ごはん屋たかみやのメニューとたかみやの様子



「ふるさとフェスタ」高宮ポスター

6. 抱えている課題、今後の目標・展開等

■ 獣害対策の目標

津市においてサルの群れは 9 群あったが、津市広域獣害対策連絡協議会をはじめ、各地域協議会との連携により、山に帰ることが困難な 2 つの群れを ICT 技術と津市独自の方法でほぼ壊滅させることに成功している。津市では、サルの追い払いを実施することよりも、今後も継続してさらに群れを捕獲し、縮小させることを獣害対策の目標としている。

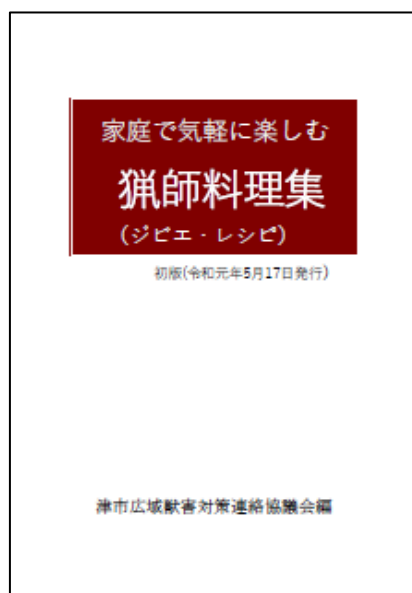
サル以外にでも、シカ、イノシシの捕獲にも力を入れ、近年ではシカの出没が大幅に減った地区も多いそうである。一方では、アライグマ等の捕獲檻の貸出しも行い、被害防止を図っている。

■ 女性人材の活躍

ゼロ円プロジェクト“みさとプロジェクト”では、足坂農家組合女性部「まめファミリー」が中心となり、「イノシシ肉と大豆のキーマカレー」の共同開発を行っていた。プレスリリースやその後の販売にも、女性部の力が重要な役割を果たしていたという。地域活性化の活力として、地域の女性人材が活躍する場が重要である。

■ 津市におけるジビエの活用

ジビエの活用としては、美郷町にある加工施設を利用した「イノシシ肉と大豆のキーマカレー」の共同開発がある。一方で、津市では、従来からジビエ活用の慣習がほとんど見られず、ジビエの加工施設もないことから、ジビエが市民に普及していない。このため、津市広域獣害対策連絡協議会では、国で進められているようなジビエの普及は、津市では啓発的な意味はあっても一般消費の拡大にはなかなかつながりにくいのではないかとこの観点から、「家庭で気軽に楽しむ猟師料理集（ジビエ・レシピ）」として 39 メニューをまとめ、頒布しているそうである。



家庭で気軽に楽しむ猟師料理集

（ジビエ・レシピ）の表紙

7. 引用文献

- 1) 津市「市政情報-統計情報」

<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1001000000822/index.html> 2020 年
1 月 23 日参照

- 2) 総務省統計局「平成 27 年国勢調査」2016 年 10 月 26 日発行

<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1001000000822/index.html> 2020 年
1 月 23 日参照

- 3) 株式会社おち山くじら <http://yamakujira.jp/> 2020 年 3 月 16 日参照

- 4) 津市農林水産部農林水産政策課「鳥獣被害をなんとかしたい！獣害対策に力をいれています」

<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/10010000009308/index.html> 2020 年
1 月 23 日参照

- 5) 津市広域獣害対策連絡協議会「家庭で気軽に楽しむ漁師料理集（ジビエ・レシピ）」

(2019 年 5 月) : https://drive.google.com/file/d/1iRwPjno-LAkux_Yh-k4lRtZ6v8IgRyC3/view 2020 年 1 月 23 日参照